

私達は、3年前の学校側からの制服制度廃止の提案以来、数多くの討議を重ねてきました。三年越の選抜により、制服制度を廃止し、服装の自由化を決定しました。

そもそも、服装とは本来、個人の個性や主張をもつとも率直に表現し、また、できるものであると思います。私達はこれらの考え方から、

服装は校則による一律の基準の枠の中に強制すべきではないと考え、制服制度の廃止、自由化を決定しました。これからは、制服制度のない新た

な学校生活のスタートを切ることにあります。

私達は、自由な服装の権利を得るとともに、今までより一層、大手高校生としての

とは違う、新しい大手、「新生大手」を築き上げていかなければなりません。

形式は内容を保障するといえます。しかし、内容のない

服装自由化宣言

自覚をもった、良識ある行動をとらなければなりません。

その責任は重くかつ、大きいでしょう。私達は服装だけでなく、すべての面で、今まで

形式は無意味であり、害ともなりません。私達は制服を廃止し、服装の自由を獲得しました。しかし、それは乱雑さや、

無軌道の意味するものではなく、

いでしよう。私達には、今まで以上に自主的、自律的な精神と生活が要求されます。それには、済美会員一人一人の努力と済美会という一つの集団としての努力もまた必要とされてきます。

私達は、周囲からも認められ、自分達でも納得できる、名目だけではない、本物の「新生大手」を目指して、頑張っていかなければなりません。みなさん、

この長岡大手高校に「新しい風」を吹かせましょう。

長岡大手高校・済美会

1989. 4. 11